

カキ生育情報

千葉県
平成20年8月号

【7月の気象】

平均気温は、第3～第6半旬で平年に比べ0.4～1.5℃高かった。月平均気温は24.7℃で平年より0.4℃高かった。

降水量はすべての半旬で平年に比べ大幅に少なく、特に第3、第5半旬では0mmであった。月合計降水量は平年よりも174mm少なく16mmであった。本年の関東地方の梅雨明けは7月19日で、平年よりも1日、昨年よりも13日早かった。

日照時間は、第2半旬で平年より少なく、第1、第3～5半旬は平年より多く、月合計日照時間は206時間で平年に比べ31時間多かった。

表1 平成20年7月の気象(暖地園芸研究所)

月	半旬	平均気温(℃)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
7月	1	22.1	22.7	11	36	26	21
	2	22.8	23.3	1	44	13	23
	3	24.8	24.4	0	38	35	25
	4	25.5	24.4	2	24	38	28
	5	26.5	25.0	0	24	50	33
	6	26.2	25.7	3	23	44	44
合計/平均		24.7	24.3	16	190	206	175

【樹および果実の生育】

暖地園芸研究所では、西村早生、松本早生富有、富有とも果実の発育は平年と比べると小さかった(表2)。うどんこ病の発生が松本早生富有で確認できた。またすべての品種でカキノヘタムシガによる食害のため、落果する果実が見られた。

いすみ市では、西村早生の果実の発育は昨年よりも小さかった。また目立った病害虫は発生していない。

市原市では、松本早生富有の果実の発育は昨年よりも小さかった。またカキノヘタムシガが多く発生しており、防除が必要であった。

表2 果実の発育(平成20年7月30日)

品種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果径指数		
		本年	昨年	平年	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
西村早生	いすみ市	4.7	5.1	-	3.3	4.0	-	1.42	1.25	-
	暖地園研	5.1	5.5	5.4	3.9	4.1	4.0	1.31	1.34	1.33
松本早生富有	市原市	5.0	5.2	-	3.4	3.6	-	1.47	1.44	-
	暖地園研	5.3	5.2	5.7	4.0	4.1	4.1	1.32	1.28	1.37
富有	暖地園研	5.3	5.5	5.7	4.1	4.3	4.3	1.32	1.28	1.34

注1) 平年値は、暖地園芸研究所における平成2年から17年間の平均値

【8～9月の作業の要点】

かん水

高温及び過乾燥が長期間続くと、根の生育が停止して果実肥大が抑えられ、熟期の遅れ、着色不良、糖度不足、翌年の着花量不足などが生ずるので、乾きやすい園、作土の浅い園では早め、多めにかん水を行いたい。

枝管理

2次伸長枝は、8月下旬～9月上旬頃に、充実したものを除き全て摘除する。秋雨は汚損果の発生を助長するので果実に重なる葉や枝は摘除し、地面近くに垂れ下がった側枝などは、適宜、枝支えやつり上げを行う。

摘果

西村早生では、8月下旬頃(着色開始期)から仕上げ摘果を行う。果頂部が凹んだ果実や不整形の果実、着色が遅いか着色ムラのある果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。

収穫

9月中旬頃から西村早生の収穫が始まるが、適熟果の収穫に努めるとともに、ほんの小さな傷でも黒変しやすいので、果実をていねいに扱うことを心がけたい。また、渋果の混入を防ぐために、渋果判定機による選別を必ず行う。

病虫害防除

気温が下がり秋雨が始まると、うどんこ病や落葉病、炭疽病の発生が多くなる。防除適期は8月下旬～9月上旬である。

9月上旬～中旬にカキノヘタムシガ、フジコナカイガラムシの防除のため、バンド誘殺を行う。また、カキノヘタムシガの被害果は、焼却するか地中に埋没する。

これらの防除は千葉県農作物病虫害防除指針に基づいて行う。

《生育情報の問い合わせ先》

※ 千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所果樹研究室 TEL 0470-22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でも
ごらんいただけます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>